

目 次

I. 総括研究報告

エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究 -----	1
代表研究者 帖佐 悦男 (宮崎大学医学部)	
分担研究者 中村 耕三 (宮崎大学医学部)	
藤野 圭司 (藤野整形外科医院)	
大町かおり (長野保健医療大学保健科学部)	
石橋 英明 (医療法人社団愛友会伊奈病院)	
村永 信吾 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院リハビリテーション事業管理部)	
新開 省二 (女子栄養大学栄養学部)	
吉村 典子 (東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センターロコモ予防学講座)	
荒川 英樹 (宮崎大学医学部附属病院)	
田島 卓也 (宮崎大学医学部)	
船元 太郎 (宮崎大学医学部)	
山口洋一郎 (宮崎大学医学部附属病院)	
中村 嘉宏 (宮崎大学医学部附属病院)	
新井 貞夫 (宮崎大学医学部)	
鶴田 来美 (宮崎大学医学部)	
塩満 智子 (東都大学幕張ヒューマンケア学部)	

II. 分担研究報告

1. ロコモティブシンドローム対策における体組成および体力測定の意義に関する研究 -体組成および体力が健康余命および余命に及ぼす独立した影響- -----	13
新開 省二	
2. ロコモティブシンドロームの疫学指標の推定 :大規模住民コホート ROAD スタディの追跡 -----	21
吉村 典子	
3. Simple Mobility Tests Predict Use of Assistive Device in Older Adults -----	30
村永 信吾	
4. 地域在住高齢者を対象とした 2 ステップテストとフレイル・サルコペニア診断基準 (普通歩行速度 1.0m/sec 以下) との関連性の検討 -----	38
村永 信吾	
5. 宮崎市集団健診におけるコロナ前・禍のロコモ検診 -----	41
帖佐 悦男 他	

6. エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究 -----	45
石橋 英明 (資料) 報告書図表	
7. 通所リハビリテーションを利用する要介護高齢者におけるロコトレの効果 ～ランダム化比較対照試験における検討～ -----	60
村永 信吾	
8. ロコモティブシンドロームの対策における簡便な介入方法の確立 -----	66
藤野 圭司 大町かおり	
9. コロナ禍における運動器及び日常生活動作に関するアンケート調査 -----	68
帖佐 悦男 他	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	72